

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和 7 年 7 月 4 日

団体名 岡崎市聴覚障害者福祉協会

代表者 守本 健児

構成員 84 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

聴覚障害者の親睦を深め、文化的な生活と権利を守って福祉向上を推進することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外)人 数※1	活動内容
2024 年 10 月 25 日	岡崎市内	聴覚障害者と 健常者との交 流を実施	20 名	社会体験として物作り工場見学や 物作り体験を行い、集団行動により コミュニケーションを通して社会性 を身につけることができました
2024 年 11 月 23 日	甲山会館	聴覚障害者の 文化と多様性 を理解	135 名	デフファミリーの那須英彰氏&映里 氏の父娘トークショー『生活編』で、 ろう文化やコミュニ重視方法等を幅 広く、健常者を含む参加者たちに講 演をしました

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

聴覚障害者と健常者が手話でコミュニケーションを取り、社会体験や講演会等を通して、新しい知識や
価値観に触れることで視野を広げることができました。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

聴覚障害者への理解促進及び手話が言語であるとの認識を取り入れ、聴覚障害者と健常者が触れ合
う交流の場を通じて相互理解を深めることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。